

STAR-Eプロジェクト第5回研究フォーラム

情報科学×地震学

研究成果公開シンポジウム

～知をつなぎ、地震防災技術を拓く～

STAR-Eプロジェクトの最終年度を迎え、研究成果を広く公開します。

地震研究と情報科学の融合によって生まれた知見を、防災や情報発信の技術へどう活かし、どう社会に役立ててるのか。その道筋をわかりやすく紹介します。

参加費無料

2026年 3月3日 (火)

オンライン開催
15:00-18:00頃

STAR-E 研究代表者



東京大学地震研究所
長尾大道先生



産業技術総合研究所
内出崇彦先生



京都大学
加納将行先生



防災科学技術研究所
久保久彦先生



統計数理研究所
庄建倉先生

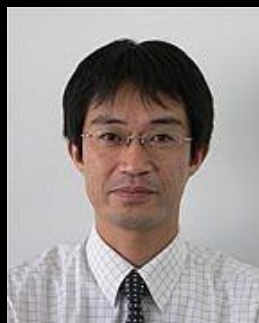
ゲストプロフィール



京都大学名誉教授／地震調査研究推進本部 地震調査委員会強震動評価部会長 等

岩田知孝先生

1989年京都大学大学院理学研究科博士後期課程修了（理学博士）。京都大学防災研究所助手を経て、2004年教授就任。2024年3月定年退職。現在、地震調査研究推進本部の地震調査委員会強震動評価部会長・政策委員会予算調整部会長等を務める。



大成建設株式会社
技術センター 都市基盤技術研究部
スペシャリスト（地震工学）

内山泰生氏

1996年入社。2005年東工大大学院で博士（工学）取得後、米国ネバダ大学客員研究員を経て復職。現在は免震・高層建物や原子力発電所の耐震検討用地震動の評価や関連する技術開発業務に従事。

対象 情報科学、地震調査研究、防災、これらの連携に興味がある全ての方

主催 文部科学省 事務局 EY新日本有限責任監査法人

お問い合わせ Email stare2021@jp.ey.com (担当 中前・郷田)

イベント詳細・お申し込みはこちら
https://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jishin/projects/event.html

募集締切 2026年3月3日(火) 12:00



研究フォーラムプログラム

時間（予定）	プログラム
15:00～15:05	開会挨拶
15:05～16:40	成果発表 研究課題①（研究代表者：東京大学地震研究所 長尾大道） 人工知能と自然知能の対話・協働による地震研究の新展開 研究課題②（研究代表者：産業技術総合研究所 内出崇彦） 信号処理と機械学習を活用した地震波形ビッグデータ解析による地下断層の探索 研究課題③（研究代表者：京都大学 加納将行） データ同化断層すべりモニタリングに向けた測地データ解析の革新 研究課題④（研究代表者：防災科学技術研究所 久保久彦） 地震データの不完全性に対応した地震活動およびそれにとまなう揺れの準リアルタイム時空間予測に関する研究開発 研究課題⑤（研究代表者：統計数理研究所 庄建倉） 長期から即時までの時空間地震予測とモニタリングの新展開
16:40～16:50	休憩（10分）
16:50～17:55	パネルディスカッション ■ ゲストパネリスト 内山 泰生（大成建設㈱ 技術センター 都市基盤技術研究部スペシャリスト（地震工学）） 岩田 知孝（京都大学名誉教授／地震調査研究推進本部 地震調査委員会強震動評価部会長 等） ■ パネリスト（STAR-E 研究代表者 5名） ■ 進行 久利美和（文部科学省研究開発局地震火山防災研究課測地学専門官）
17:55～18:00	閉会挨拶 STAR-Eプロジェクトマネージャー 樋口 知之（中央大学理工学部 教授）

STAR-Eプロジェクトとは？

STAR-Eプロジェクトは、情報科学の知見を採り入れた新たな地震調査研究を推進するためのプロジェクトです。

情報科学と地震学の、両分野の連携を促進する様々な取組により、次世代を担う若手研究者の育成も含めた、「情報科学×地震学」分野全体の発展を目指します。

STAR-Eプロジェクト ホームページ

https://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jishin/projects/index.html



※ ご提供いただいた個人情報は、事務局（文部科学省、EY新日本有限責任監査法人（本事業に係る委託事業者））及び登壇者が、本プロジェクトのイベントにおいてのみ使用し、事務局においてその保護について万全を期すとともに、ご本人の同意なしに事務局及び登壇者以外の第三者に開示、提供することはありません。